

第1学年 生活科学学習指導案

指導者 阿部 伸也

1 単元名 「きれいにさいてね わたしのおはな」

2 単元について

(1) 単元のねらい

本単元は、学習指導要領の内容（7）「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」を受けて設定したものである。

本単元は、植物を栽培する活動を通して、その成長や変化、世話の仕方、自分とのかかわりなどに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にすることができるようになることをねらいとする。

本単元では、教材としてアサガオを選んだ。それは、種を2年生からプレゼントされたことで、子どもたちが興味をもっていたこと、変化や成長が早く観察に適していること、支柱を立てるなど成長過程での世話があること、最後には、種を取り、かれたつるを使って飾りを作ることで、世話を続けてきた植物まるごとを子どもの成長の記録として残すことができることからである。

(2) 児童の実態

前単元「はるがいっぱい」においては、近くの公園などへ春探しに出かけ、草花や虫などに触れながら、友達と楽しく活動する姿が多く見られた。また、見る・においをかぐ・触るなどの諸感覚を使って気付いたことを教師や友達に話したり、教えてもらったことを自分でもやってみたりするなど、意欲的に自然とかかわろうとする姿が見られた。

植物の栽培に関しては、幼稚園や保育園で、アサガオを育てた経験がある子どももいるが、水やりの世話をする程度で、成長や変化に関しては、よく知らない子どもが多い。

(3) 研究にかかわる具体的な手立て

本単元では、子どもたちが、アサガオという対象に自分なりの思いや願いをもってかかわり続けていくことができるようにしていきたい。そこで、アサガオの成長を観察し振り返る活動に焦点をあてる。アサガオが生命をもっていることへの気づき、成長や変化に関する気づきを通して、子どもなりの適切な世話の方法を考えさせるようにする。そして、自分がアサガオとどのようにかかわっていったのか振り返らせることで、自分のよさに気付かせていきたい。そのために、以下のような手立てをとっていく。

① 見付ける活動を位置づけること

- ・ 色や形、大きさなど、視点を確認してから観察をさせる。視点を意識した子どものつぶやきについては、それを価値付け、諸感覚を使った観察の仕方が定着するようにする。また、気付いたことを「あさがおにつき」に表現させることで、気づきの自覚化を図る。

② 比べる、たとえる活動を位置づけること

- ・ 気づきを振り返ってとらえ直すために、必要に応じて比べたり、たとえたりする言葉かけを行い、気づきを明確にしたり、関連付けたりすることができるようにする。

③ 伝え合い交流する場を工夫すること

- ・ アサガオの変化や世話の仕方など、視点を示して気づきを交流することで、話合いの焦点化を図る。気づきを全員で共有し高めていくことで、子どもたちなりに適切な世話の方法を考えることができるようにする。

3 単元の目標

植物を栽培する活動を通して、それらに生命があることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切に世話を続けることができる。

4 単元の評価規準

【関心・意欲・態度】

- アサガオなどの植物の変化や成長の様子に関心をもち、大切に育てようとしている。

【思考・表現】

- アサガオなどの植物を育てることについて、アサガオの立場に立って考えたり、世話を工夫したり、かかわりを振り返ったりして、それを自分なりの方法で表現している。

【気付き】

- アサガオなどの植物は生命をもっていることや成長していること、それに合った世話の仕方があること、及び世話ができるようになった自分に気付いている。

5 活動計画及び評価計画（全15時間） 【関】関心・意欲・態度、【思】思考・表現、【気】気付き

活動名	時	主な学習活動	教師の主な支援	具体的評価規準
たねをまこう	2	2年生からもらったアサガオの種と出合う。種まきに必要なものを準備する。 あさがおのこれからの成長に願いをもって、種をまく。	・小さい種からどのように大きくなってほしいか、願いをかかせ、自分のあさがおに愛着を持たせるようにする。	・アサガオの成長に関心をもち、大切に育てようとしている。 【関→活動の観察, カード】 ・種には色や形などの特徴があることや、まき方があることなどに気付いている。【気→発言, カード】
まいにちせわをしよう	1	発芽したアサガオの様子を観察する。世話の仕方を話し合う。	・教師も一緒に世話を行うことで、小さな変化を取り上げ話題にしていく。	・アサガオの成長に関心をもち、進んで世話をしようとしている。 【関→発言, 活動の観察】
	2 本時	成長してきたアサガオの様子を観察する。成長の様子に応じて、植え替えなどの世話の必要性に気付き、休み時間なども使って、継続的に世話をする。	・愛情をもってかかわる姿、成長を喜ぶ言葉、「あさがおにっき」にかかれた気付きなどを取り上げ、称賛する。 ・世話の仕方は、植物の成長の様子や状態に合わせ、その都度話し合わせる。	・アサガオの変化や成長について考え、植え替えなどを工夫しながら世話をしている。 【思→発言, 活動の観察】 ・アサガオに生命があることや成長していること、適切な世話の仕方があることに気づいている。 【気→発言, カード】
はなをかんさつしよう	1	開花を喜び、その喜びを絵や文などで表現し、友達や家の人などに伝える。	・匂いや手触りなど五感を使ってかかわらせ、その喜びを絵などで表現させる。	・開花を喜び、その喜びを教師や友達、家の人などに伝えようとしている。【関→活動の観察】
はなのおもいでをのこそう	2	自分の選んだ方法で、花の思い出を残す活動を行う。 ・たたきぞめ ・色水づくり ・押し花 ・しおりづくり 等	・様々な道具を用意したり、方法を提示したりすることにより、工夫して活動できるようにする。	・花の美しさを残したり、開花の喜びを伝えたりするための方法を考え、作品をつくったり、絵や文で表現したりしている。 【思→活動の観察, 作品】

たねとりをしよう	1	種とりをする。実や種の様子を観察する。	・種の数調べさせたり、まいた種と比べさせたりして、種ができた喜びを感じることができるようになる。	・色や形、大きさや手触りなどの種の特徴や、植物は種を作り、生命をつないでいることに気付いている。【気→発言、カード】
はなのおはなしをまとめよう	2	枯れてしまったアサガオをどうするか話し合い、つるを使った作品などを作る。 ・種 →新1年生や家族へのプレゼント ・蔓 →リース ・土や鉢→新しい植物の栽培に使用 等	・昨年度の話や、例を示しながら、枯れてしまったアサガオをどうするか話し合わせる。 ・つるの長さや根の量を取り上げ、アサガオの成長に目を向けていくことができるようになる。	・枯れてしまったアサガオを最後まで大切にしようとして、進んで活動しようとしている。 【関→活動の観察】 ・アサガオの成長の様子やこれまでの世話などについて振り返り、植物を育てることの喜びや楽しさ、その難しさを表現している。
	3	アサガオの成長の様子やこれまでの世話などを振り返りながら、表現方法を考え、作品などにまとめて伝え合う。 ・新聞形式 ・本形式 ・ペープサート 等	・これまでの「あさがおにつき」をもとに、成長の過程やその時の思い、自分自身の成長について振り返ることができるようにし、多様な方法で表現することができるように支援する。	【思→活動の観察、作品】 ・種ができるまで、自分ががんばって世話を続けてきたことに気付いている。【気→発言、カード】
きゅうこんをうえよう	1	秋になってから栽培できる植物を調べる。球根を植え付け、継続的に世話を続ける。	・前小単元の話合いをもとに、春に咲く球根を栽培したいという思いを高めることができるようになる。	・開花への願いをもって、大切に世話を続けようとしている。 【関→活動の観察】

6 本時の学習活動（4・5／15時間）

(1) 本時の活動と子ども

子どもたちは、前時までの種まきや毎日の水やりなどのお世話を通し、アサガオに対して、「早く大きくなってほしい。」「元気に育ててほしい。」「きれいな花が咲いてほしい。」というような思いや願いをもっている。しかし、そのような成長を願う気持ちも、実際にこれからどうアサガオにかかわればいいのか分らなければ、次第に小さくなっていくものと思われる。

そこで、本時の前半では、これまでのアサガオの変化や成長を確かめ合いながら、どんなお世話が必要かを考える活動をする。その際、「双葉の頃と現在のアサガオ」や、「友達や家族と自分の世話の仕方」など様々な視点で比べたり、アサガオを自分にたとえたりすることで、話し合いが深まるようにする。アサガオの立場で話している子どもの意見を価値付けることで、アサガオのことを思いやりながら世話することの大切さに気付かせていきたい。

後半では、実際に自分たちで考えた、植えかえや追肥といったお世話を行う。活動の中で生まれた子どもの様々な気づきについては、必要に応じて比べたり、たとえたりするための言葉かけを行い、気づきを明確にしたり、関連付けたりすることができるようにする。

活動の振り返りでは、アサガオの変化や世話の仕方など、視点を示して気づきを交流することで、話し合いの焦点化を図り、アサガオの成長やアサガオと自分とのかかわりについての気づきを高めていきたい。

このような活動を通し、子どもたちが、自分のアサガオを大切にしようという思いをさらに深めるとともに、その変化や成長に合わせて、主体的に世話が行えるようにしていきたい。

(2) 本時の目標

- ・植物の変化や成長について考え、植え替えなど工夫しながら世話をしている。【思考・表現】
- ・植物に生命があることや成長していること、適切な世話の仕方があることに気づいている。【気付き】

(3) 本時の展開

活動の流れ	予想される子どもの思いや願い	教師の支援（◎研究に関わる手立て、◇評価）
<p>全体・・・10分</p> <p>アサガオの成長の様子について話し合う。</p> <p>【学習のめあて】 もっと おおきくなあれ。あさがおのお世話をしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・葉の数が増えてきたよ。 ・背も高くなってきたね。 ・だんだんアサガオのお家がせまくなってきたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アサガオの成長の様子を振り返ったり、本時はどんな活動をしたいかを発表させたりして、対象にかかわろうとする意欲を高める。
<p>全体・・・20分</p> <p>アサガオに必要なお世話を考える。</p> <p>(校庭へ移動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前は小さかったけど、だんだん大きくなってきたから、広いお家が必要なんじゃないかな。 ・アサガオは、「せまいよ。」って言っているかもしれないね。 ・家でお母さんがお花に肥料をやっていたよ。わたしも肥料をあげたいな。 	<p>◎実際にアサガオのポットを見ながら話し合わせる。その際、比べたり、たとえたりすることで、話し合いが深まるようにする。</p> <p>比 べ る：双葉の頃と現在のあさがおの様子 友達や家族と、自分の世話の仕方 た と え る：アサガオを自分にたとえる など</p> <p>◇植物の変化や成長について考え、植え替えなど工夫しながら世話をしている。【思考・表現】</p>
<p>個・・・25分</p> <p>アサガオのお世話を 行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くずれないように植えかえよう。 ・間引きした苗は家に持って帰って育てたいな。 ・光がよく当たるように、花壇のところに置こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移植や間引き、追肥の手順を説明する。 <p>◎子どもの活動に合わせて個別の支援を行い、必要に応じて比べたり、たとえたりするための言葉かけを行う。</p> <p>・前と比べてどんなところが変わったのかな。 ・何みたいかな。 など</p>
<p>全体・・・15分</p> <p>活動を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・根がもじゃもじゃのひげみたいだったよ。 ・広いお家に引っ越しできて、きっと喜んでいるんじゃないかな。 ・今日のお世話は難しかったけど、〇〇さんに教えてもらったらできたよ。 	<p>◎視点を示して話し合わせることで、話し合いの焦点化をはかる。</p> <p>・アサガオの成長や変化（根の様子など） ・世話の仕方 ・自分自身への気付き</p>
<p>個・・・20分</p> <p>あさがお日記を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もっともっと大きく育ててね。 ・これからも忘れずに、水やりするよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに記したアサガオへの思いを発表させ、これからのお世話への意欲を高める。 <p>◇ 植物に生命があることや成長していること、適切な世話の仕方があることに気づいている。【気付き】</p>